

会 議 録

会 議 名 (付属機関等名)		平成30年度 第3回川西市介護保険運営協議会 「介護保険料・地域包括支援センター・地域密着型サービス等施設部会」	
事務局(担当課)		福祉部 介護保険課	
開催日時		平成31年3月18日(金)13:00~14:30	
開催場所		川西市役所 7階 大会議室	
出席者	委 員	大塚保信、上農哲朗、橋本潤、市場大輔、白石美智子	
	その他	(空欄)	
	事務局	根津倫哉、井口俊也、今井ひでみ、 森上淑美(中央地域包括支援センター)、川上敬弘	
傍聴の可否		可	傍聴者数
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由		(空欄)	
会議次第		1. 開会 2. 報告事項 「地域ケア推進会議について」 「地域密着型サービス事業者の提供状況について」 3. 閉会	
会議結果		別紙審議経過のとおり	

審議経過

部会長

定刻になったため、ただいまより平成31年度第3回川西市介護保険運営協議会「介護保険料・地域包括支援センター・地域密着型サービス等施設部会」を開催する。本日はお忙しい中ご出席いただき感謝する。

本日、委員8名中5名が出席しているため、本日の協議会は成立している。

本日も皆様の活発なご意見をお願いします。傍聴希望はあるか。

事務局

傍聴希望はない。

【資料確認】

部会長

次第の2、「地域ケア推進会議について」の説明を事務局よりお願いします。

事務局

【資料「地域ケア協議会と書かれたホワイトボードを写真に撮った書類一式」・「川西市高齢者保健福祉計画・第7期介護保険事業計画 抜粋」に基づき報告】

部会長

本日の議題として、移動手段というのが大きなポイントとなる。様々な観点からの意見をいただきたい。質問はないか。

委員

兵庫県の地域サポートについての詳細な説明を聞かせてほしい。

事務局

地域サポートシステムは兵庫県が認定を行うもので、現時点では清和苑が手を挙げており、デイに使う自動車でできないかと検討しているところである。

委員

明峰地区について、孤立している方もいるためコープの配送をほぼ利用している。ほとんどの方がタクシーを利用し、中には困ったときはすぐ救急車を呼んでいる方もいる。そのため、移動手段への支援があれば一番喜ばれると思う。明峰地区で利用可能なものはあるのか。

事務局

公的なものはない。安心サポートの活動において利用できるものもあり、僅かだがタクシー会社で取り組んでいるところもある。

委員

ボランティアによる活動はないのか。ボランティアで行うにあたってのメリットは設けていないのか。

事務局

緑台地区でチケットを配布して行っていると聞いている。メリットは設けていない。

委員

以前あった、高齢者に3,000円のカードを支給していたのは介護保険の予算からなのか。

事務局

介護保険における外出支援サービスである。

委員

その予算を移送手段に充てるべきだったのではないだろうか。市長の話に合ったAIを活用した実証実験は数年後の話になる上に利用可能な地域が限定されるだろう。例えば、市営の車両を用意するなどカードの配布よりも効果的な手段はなかったのか。川西市は、南北移動は公共交通機関が発達しているが、東西移動が限られている。南北移動だけでなく、東西移動も考慮すべきだろう。

委員

地域サポート施設について、資料には県補助なしと記載があるがいかがか。

北部などでは、自宅から道路へ出るのに階段があるお宅も多いため、車両を用意してもその間のサポート等の新たな問題が出ると考える。道路運送法が相乗り可能になるよう改正されると聞く。タクシーの相乗りを活用したら一人当たりの負担が減るのではないかと考える。

事務局

県からの補助はない。

地域包括支援センターにおいては、介護予防として様々な取り組みを行っているが、移送手段が無いために参加できない方が多くいる。移動困難な方が参加でき、かつ地域のネットワークが分断されない助け合いが継続して行われるサポートはどうすればよいのかという課題がある。各地域の現場で様々な工夫を行うのに加えて、政策的にも後押しができるような形にしていかなければならないと考える。是非今後とも様々な意見を賜りたい。

委員

現場で様々な課題が出ている中、総合事業における移動外出支援を部会でも具体的に進めていく必要がある。県からの補助がないならば、各社会福祉法人が取り組むものでは地域間で取り組みに差が出るかもしれない。市内で包括的に考えるならば、総合事業についてさらに具体的なものにする必要があると考えるが、いかがか。

また、総合事業として進めるにあたりタイムスケジュール等の具体的な工程は今後どうなるか。

事務局

予算が伴うため、モデル事業等を実施するにしても今後どう行うのかを具体的に検討していくべきと考える。

部会長

例えば、大阪の南部にある交通面が非常に不便な地域では、生活用品を大量に積み込んだトラックが定期的に訪れる地域もある。また、老人クラブが密な連携をとっている地域もあり、老人クラブの方は社会貢献への意欲が高い方も多い。そういった支援活動を支えてくれる団体を探すのもよいだろう。川西市では生活用品を売って回る業者はあるのか。

事務局

コープの他、数年前よりセブンイレブンの移動販売車が巡回している。

委員

山間部の小規模な集落であれば個別訪問も可能かもしれないが、住宅地のような個別訪問できない地域では、たとえ「〇〇に来ます」となってもそこへ行くのも困難だろうし、住宅地をこまめに回るのは業者の負担も大きいだろう。

委員

協議の目的を再度確認したい。地域包括支援センターでは、地域住民主体の介護予防の催しができる場ができているのにもかかわらず、そこへ行く手段が無いために参加できていないということに課題を感じているということだろう。そうした介護予防の催しの場へ行くための移動手段を考えたいということでのよいのか。

委員

移動手段について、大きな病院への移動手段は今後考慮しない方がよいだろう。たとえば、協立病院では今後外来はすべて予約制となり、かかりつけ医へ誘導するためである。

委員

工程表についてはどうなるのだろうか。本日の議論がどのように反映されるのか。

委員

市が予算を出してボランティアを募り、それに対して何らかのメリットが生まれるようなものをコミュニティごとにすべきではないだろうか。

事務局

所管は異なるが、コミュニティに対しては一括交付金という地域の課題解決を地域主体で取り組んでもらう交付金もある。この部会では介護保険において課題解決できる方策について議論いただいているが、新規の実施計画は毎年夏ごろまでにまとめなければならず、予算が付く確証はないため、中途半端にまとめるよりは次年度に持ち越してでも完成度を高めた方がよいという状況である。

もう一方の生活支援体制整備部会でも同様の課題を抱えており、地域のコミュニティ等の方が抱える議論を予定している。市としても地域の方や地域包括支援センターが求める制度をつくっていきたいと考えているため、今後ともご提言をいただきたい。

部会長

地域包括支援センターは、半径 2 キロ程度の生活圏域に一つ設定されており、様々な課題を抱えている。会議中のみならず、様々なご提言を賜りたい。

つづいて、次第の 3. 「地域密着型サービス事業者の提供状況について」の説明を事務局よりお願いする。

事務局

【資料「左上に地域密着型通所介護と記載されたエクセルの表」に基づき報告】

部会長

意見等あるか。

委員

資料の定員、利用者数はそれぞれ 1 ヶ月あたりの数なのか。

事務局

定員は 1 日あたり、利用者数は 12 月の 1 ヶ月間の数である。

委員

利用者数は平均すると 1 日あたり 2 人程度のところが多く、実績が定員を下回るということか。実績が定員を下回っているのであれば効率が悪く、事業と成り立っているのか疑問である。市からの補助金はあるのか。定期的なチェックはあるのか。

事務局

施設の設置にはでていますが、運営にはない。チェックは監査という形で実地指導を行っている。地域密着型特養の小花については、3 フロア中 1 フロアが人手不足のため開いていない。

委員

地域密着型特養について、開いている部分はすべて埋まっているということか。

事務局

広域型特養については、ほとんどが埋まっている。

委員

資料において、通所の場合に利用者数が示す内容がわからない。

委員

事務局より、資料にある施設の種類について説明してほしい。

事務局

地域密着型は川西市民のみが利用でき、受け入れ人数が異なる。グループホームは認知用の方が共同で生活する施設で、小規模多機能型は通所を中心に泊まりもある施設である。定期巡回型は、夜間対応も可能な施設である。

委員

地域密着型は規模が小さいため、採算が合わないと事業から撤退する危うさがある。

部会長

人手不足は深刻であり、外国人に依存しているのが現状である。

委員

定員割れを起こしている施設は、今後落ちこぼれていくことが想像される。

委員

定期巡回のスーパーコートについて、以前の話では地域に出ることが難しいために併設施設への訪問に留まっているが、その後地域へ訪問した実績はあるのか。

事務局

ない。

部会長

他にないか。

つづいて、次第の4. その他について、事務局からあるか。

事務局

資料「指定地域密着型サービス事業所、指定地域密着型介護予防サービス事業所指定申請書」について、社会福祉法人 盛幸会より平成 31 年 3 月 30 日開始で小規模多機能型居宅介護 錦麓荘、株式会社 complete より平成 31 年 4 月 1 日開始で地域密着型通所介護の指定申請があった。これらについて、指定をしても良いか確認をお願いします。

部会長

異議はあるか

(委員異議なし)

部会長

異議は無いようなので、これを持って結論とさせていただきます。

本日の部会は以上をもって閉会とさせていただきます。本日はありがとうございました。